



Bank of Japan Fukushima Branch

福島県金融経済概況

【概要】

(経済情勢)

県内景気は、足踏みしている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、減少している。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、下げ止まりつつある。

鉱工業生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

消費者物価は、前年を上回って推移している。

先行きについては、物価上昇の個人消費への影響、海外経済の動向が生産に及ぼす影響、雇用・所得の動向に加え、各国の通商政策の展開とそれに伴う生産や企業収益への影響に注意していく必要がある。

(金融情勢)

実質預金は、前年を下回って推移している。貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、緩やかに上昇している。企業倒産は、増勢が鈍化している。

【前回からの変化】

総括	個人消費	住宅投資	設備投資	公共投資	生産	雇用・所得
➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡

(注)

- ↑ :前回から改善度合いが強まっている、
もしくは悪化度合いが弱まっている。
➡ :前回から変化なし。
↓ :前回から改善度合いが弱まっている、
もしくは悪化度合いが強まっている。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行 福島支店 総務課

TEL:024-521-6353

本資料は、ホームページ
(<https://www3.boj.or.jp/fukushima/>)
にも掲載しています。



次回の公表予定: 2025年12月22日(月)14時

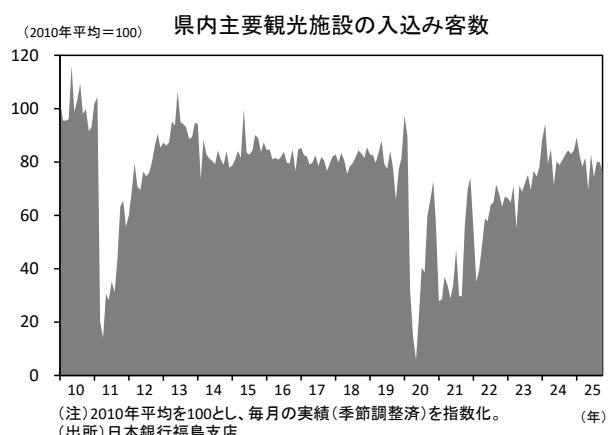
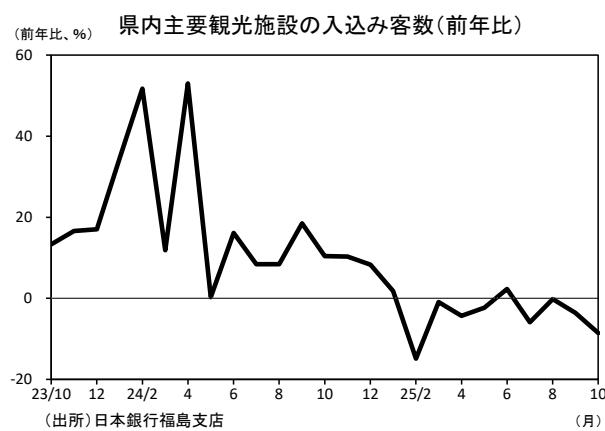
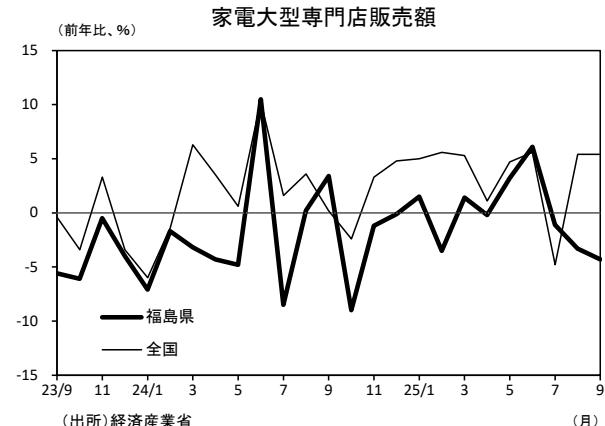
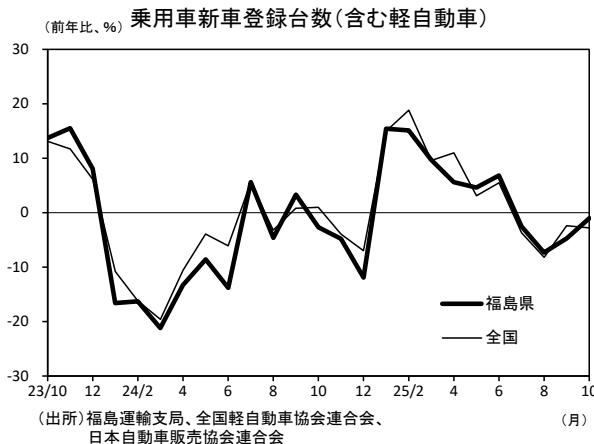
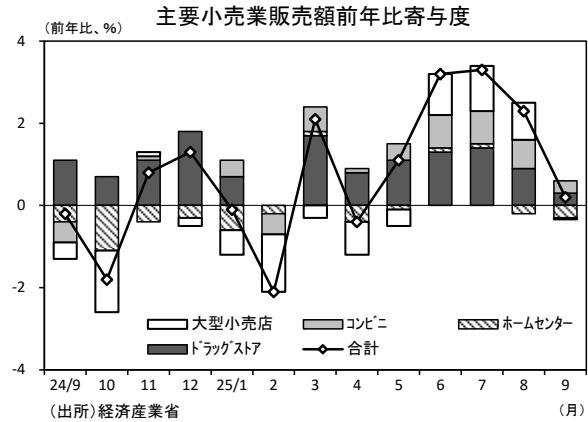
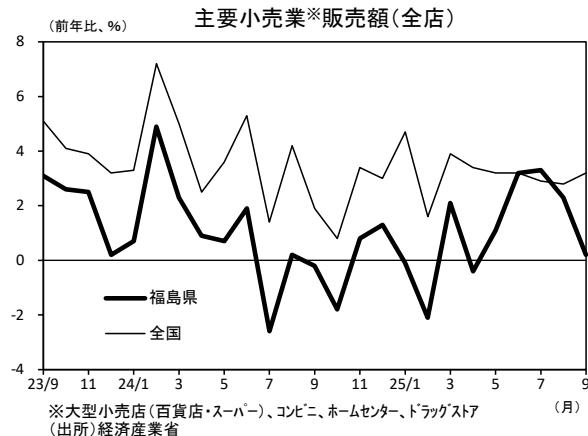
1. 需要項目別の動向

【個人消費】

個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。

主要小売業販売額（9月）は、前年を上回った。乗用車新車登録台数（10月）は、前年を下回った。家電大型専門店販売額（9月）は、前年を下回った。

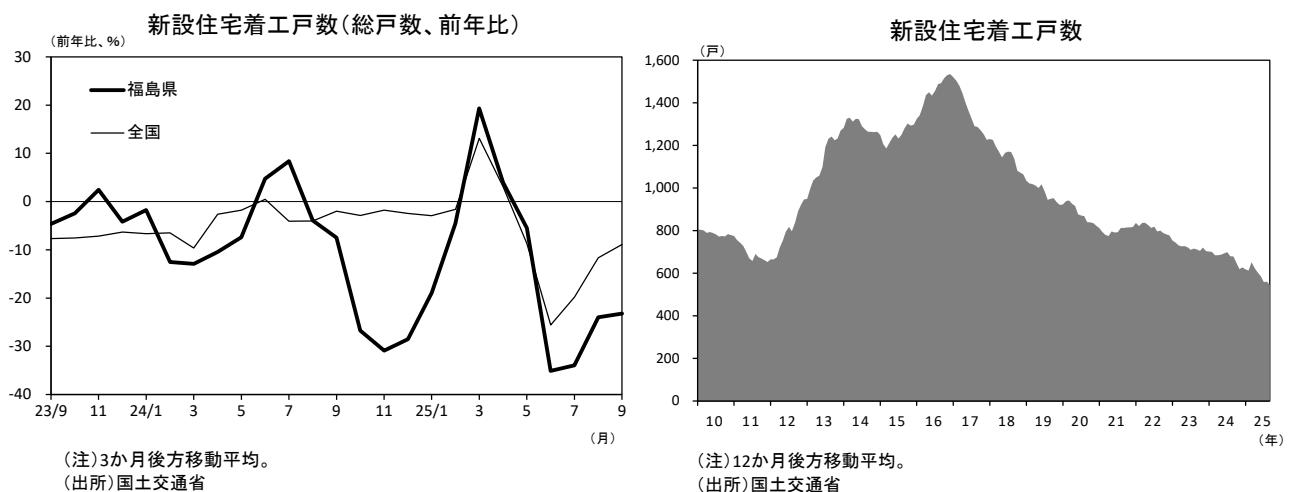
サービス消費は、弱めの動きがみられる。県内主要観光施設や宿泊施設への入込みは、減少している。



【住宅投資】

住宅投資は、減少している。

新設住宅着工戸数（9月<3か月後方移動平均>）は、前年を下回った。

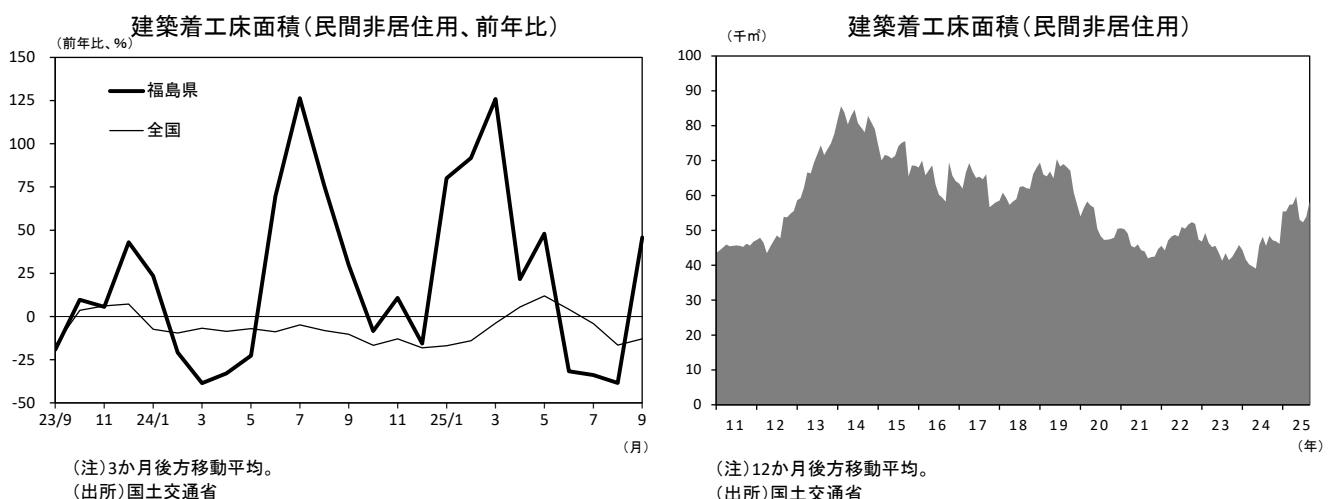


【設備投資】

設備投資は、緩やかに持ち直している。

9月短観で県内企業の2025年度の設備投資計画をみると、製造業では新規事業向けの投資や生産性向上を図るための能力増強投資、非製造業では新規出店や効率化投資を中心に、それぞれ前年を上回る計画となっている。

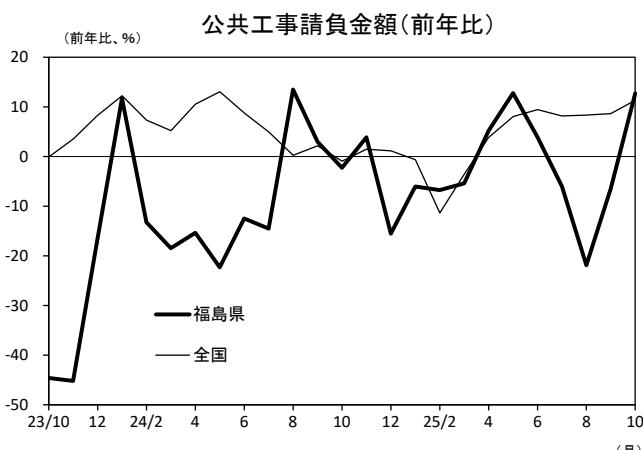
建築着工床面積(民間非居住用)（9月<3か月後方移動平均>）は、前年を上回った。



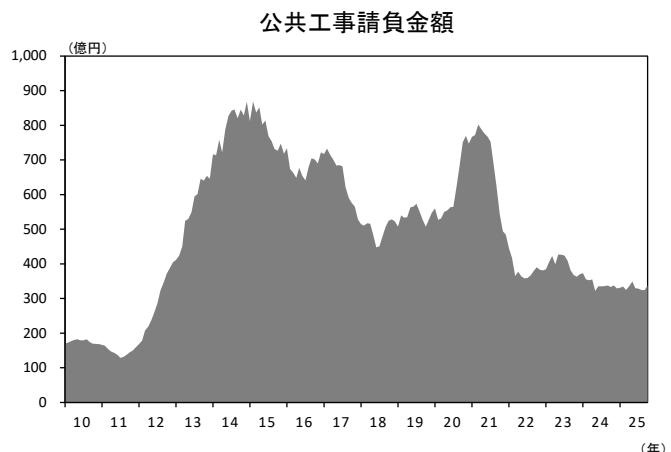
【公共投資】

公共投資は、下げ止まりつつある。

公共工事請負金額（10月<3か月後方移動平均>）は、前年を上回った。



(注)3か月後方移動平均。
(出所)東日本建設業保証㈱ほか



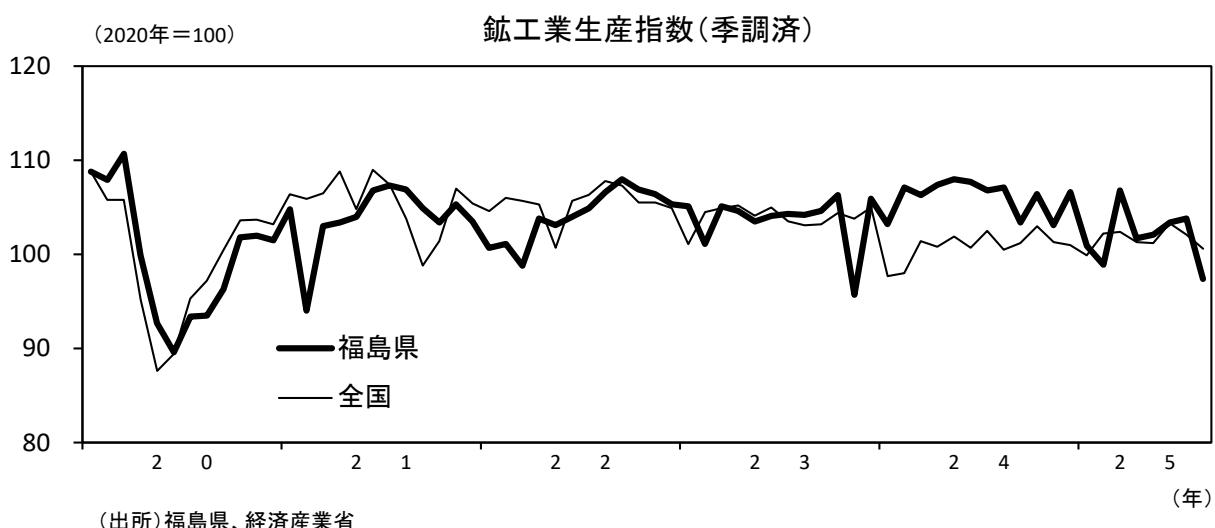
(注)12か月後方移動平均。
(出所)東日本建設業保証㈱ほか

2. 生産動向

鉱工業生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。

A I 関連財の生産は、堅調に推移しているものの、海外経済の先行き不透明感があるもとで、自動車関連などで弱めの動きがみられている。

鉱工業生産指数（8月）は、前月比低下した。

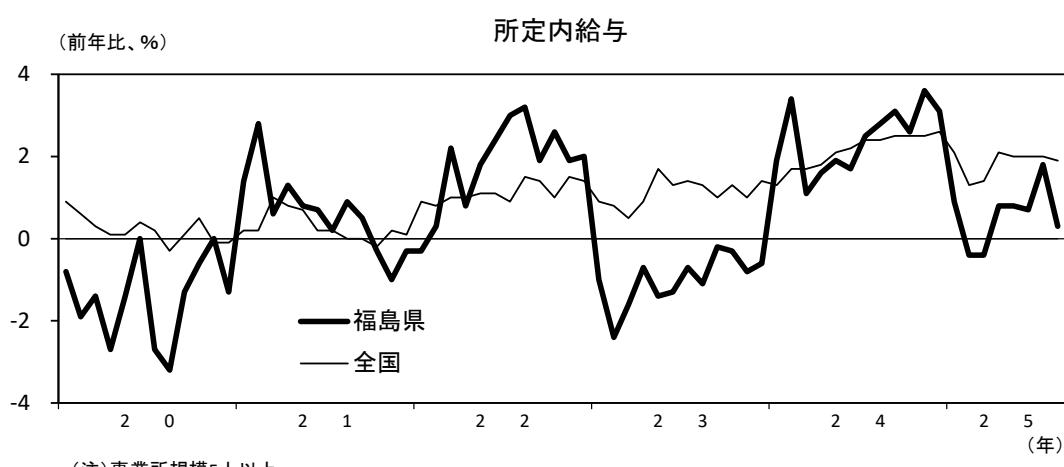
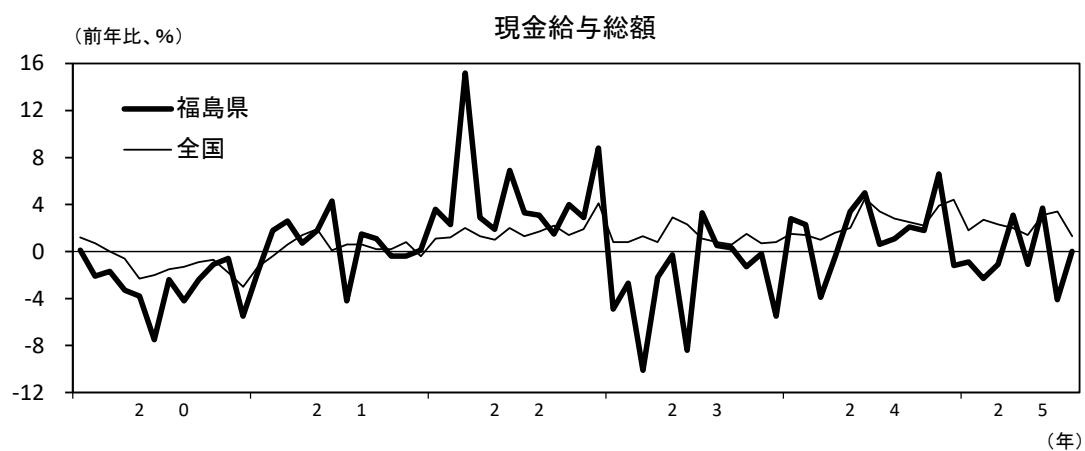
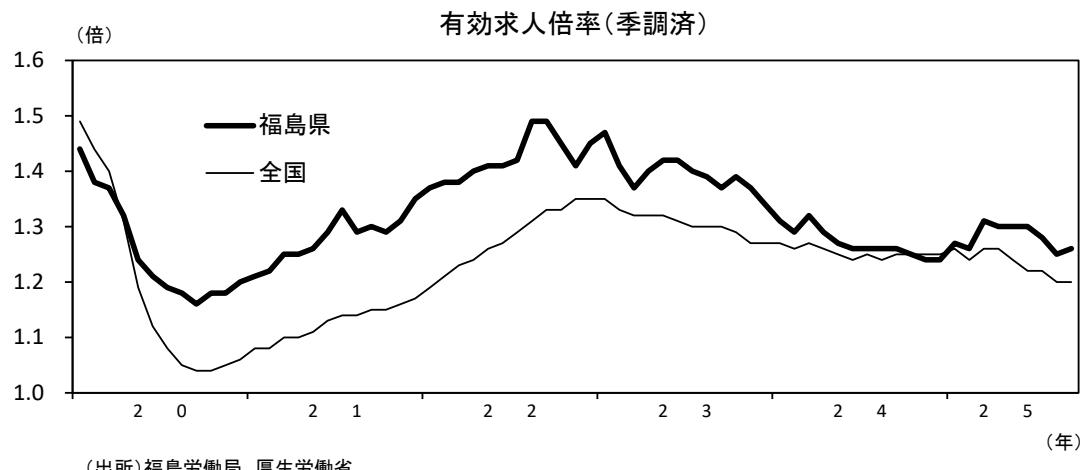


(出所)福島県、経済産業省

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

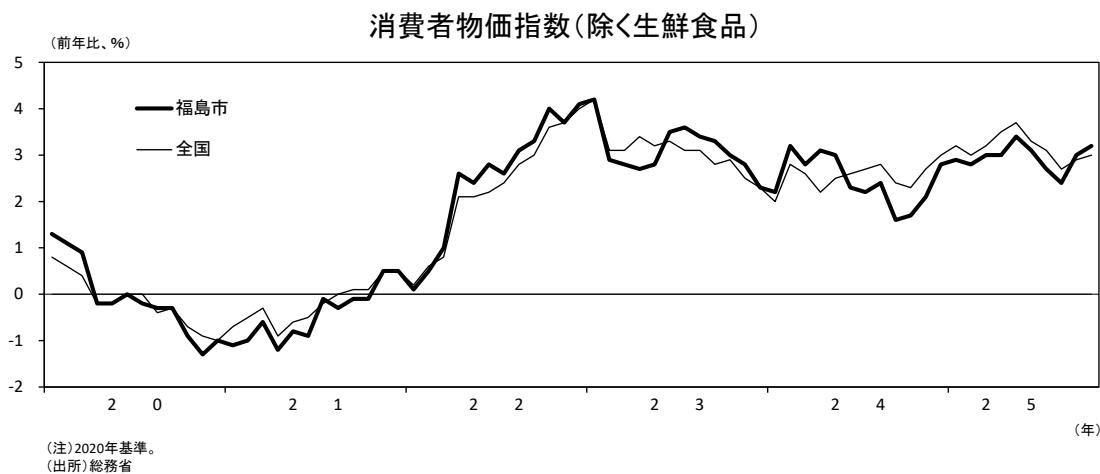
有効求人倍率（9月）は、前月に比べ上昇した。現金給与総額（8月）は前年並みとなつたが、所定内給与（8月）は前年を上回った。



4. 物価

消費者物価は、前年を上回って推移している。

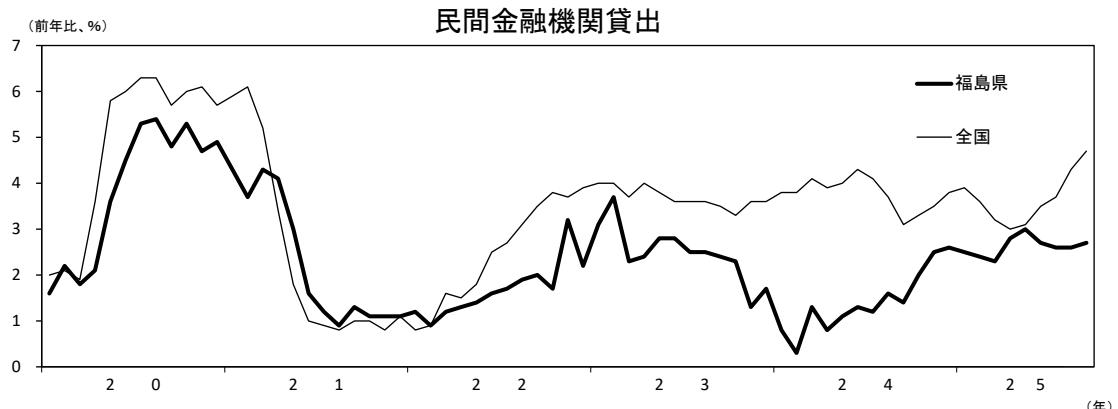
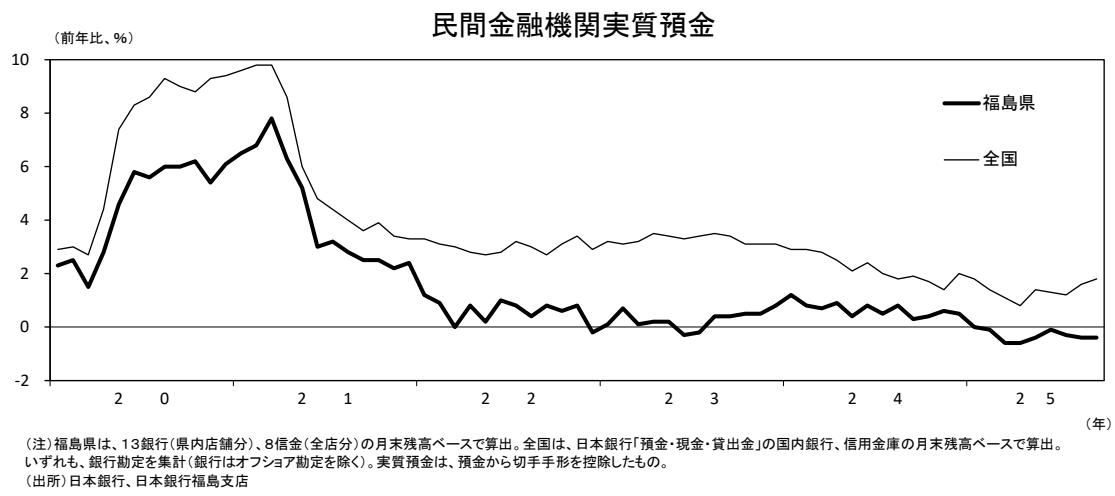
消費者物価指数（除く生鮮食品）（10月）は、前年比+3.2%となった。



5. 金融情勢

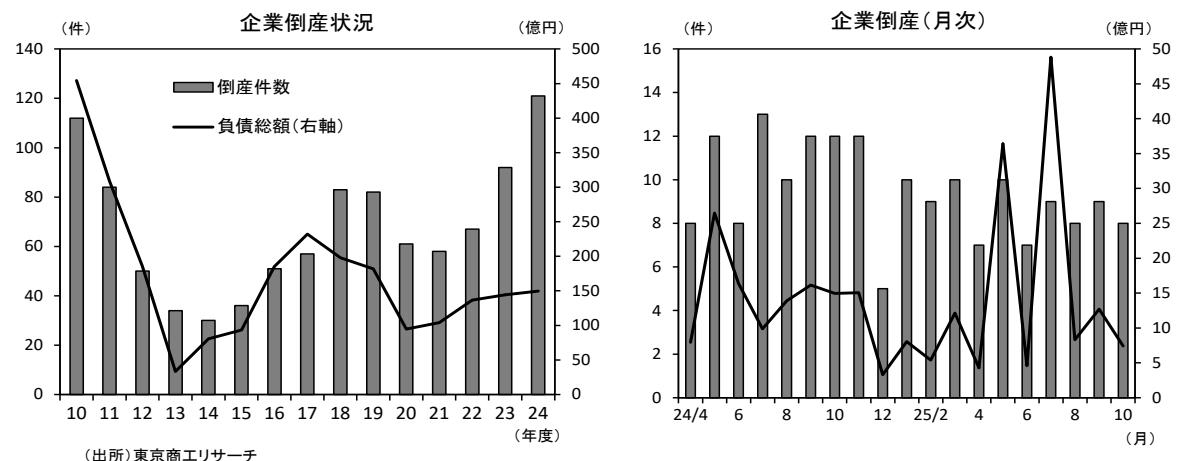
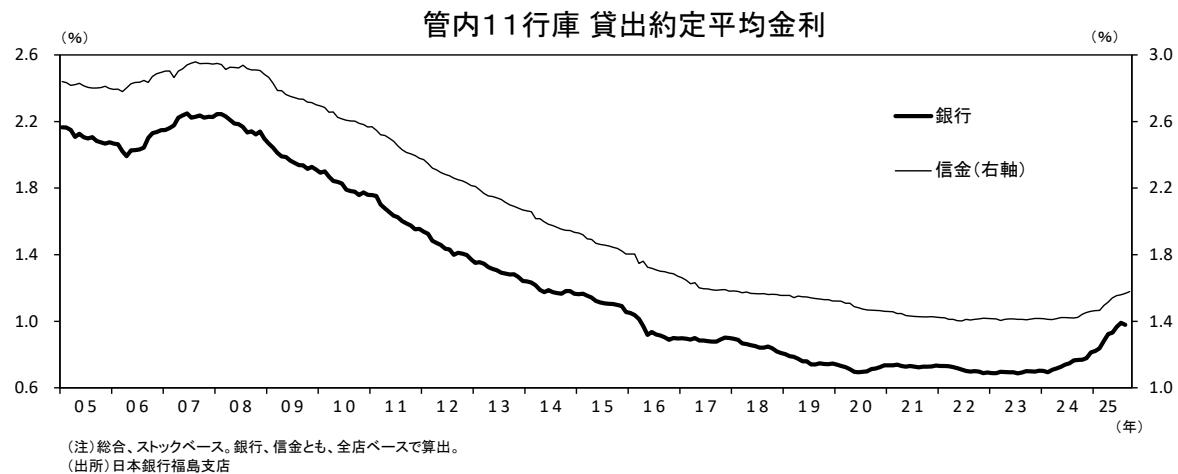
実質預金は、前年を下回って推移している。

貸出は、前年を上回って推移している。



貸出約定平均金利は、緩やかに上昇している。

企業倒産は、増勢が鈍化している。



以 上